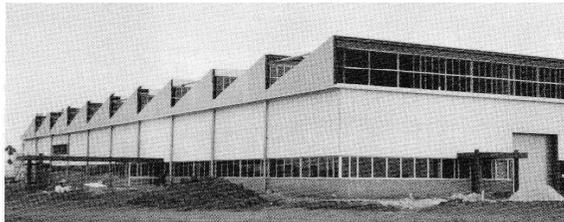


トヨタ自工が建設を進めている海外新工場が順調な仕上がりを見せています。オーストラリアのエンジン工場は、一部機械の据え付けが始まり、この夏には建屋が完成する予定です。また、インドネシアのボデー工場も五月から機械の搬入が始まっており、両工場とも今秋以降には稼働の運びとなっています。ここでは建設進む両工場を紹介しよう。



五月上旬時点のオーストラリア・TMA社のエンジン工場



五月下旬時点のインドネシア・モビルド社の第2工場

建設進む海外新工場

国産化政策に対応

研修生の受入れも活発に

昨年五月からオーストラリアメルボルン市郊外のアルトナ市に建設が進められているエンジン製造工場が、順調な仕上がりを見せています。既に一部機械の据え付けが開始され、この夏

には建屋も完成、早ければ今秋にも組み付けが開始される予定です。このエンジン製造工場は、八〇年までに乗用車の国産化率を八五〇にするというオーストラリア政府の国産化政策に対応して、昨年二月に新会社TMA社を設立し、建設しているものです。敷地面積は約五十四万平方メートル、建屋面積は約一萬四千平方メートル、カラー用4Kエンジンとマニエアルトランスミッションの機械加工・組付およびエンジン、ミッションのアルミ鋳物部品の製造を行います。本格稼働後のエンジン生産能力は月産一萬三千台、ミッションは同二千三百台です。

このBUVのボデー工場に於いて、第2工場の建設が昨年九月から進められています。この工場では、商用車のボデー、キャブ、フレームなどを今年から国産化するというインドネシア政府の国産化政策に対応し、小型トラックのキャブ、デッキ、フレームの製造を行います。敷地面積は約六萬四千平方メートル、建屋面積は約八千五百平方メートル。五月から機械の搬入も始まり、今秋以降に稼働の予定です。

一方、工場建設の進展に伴って、両工場の円滑な立ち上がりはもとより、国内と同様、高品質で低コストのトヨタ車造りを促進しようとして、研修生の受け入れや技術指導員の派遣が活発になってきています。TMA社からは工場長以下四人が研修のため来社、上郷工場がエンジン製造工程をはじめ、保全・検査技術などを、またモビルド社からは三人の研修生が訪れ、元町工場で型保全の技術などを修得しました。

また研修生の受け入れとは逆に、トヨタ自工からも多くの技術指導員が約半年間も多くの技術援助に出かかっています。

このほど、トヨタ自工は国際交流基金を通じて、ロンドン大学に「国際経済研究センター」の設立資金として、五億円を寄贈。その寄贈式が六月三日、ロンドン・セント・パウルズ教会、聖ヨハネ、日本側から加藤駐英大使をはじめ、トヨタ

ロンドン大学へ五億円寄贈

自工の豊田副社長ら、英国側からロンドン大学のワールド、理事長、ダーレンドルフ学長、森島教授らが出席。式は和やかな中にも厳粛な雰囲気のうちに終わる。加藤大使から福田総理のメッセージも伝えられました。

今回の寄贈は、森島ロンドン大学教授の「ロンドン大学に国際経済研究センターを設け、日英間の相互理解を深めるために役立てたい」という考えに賛同。昨年十一月は、トヨタ自工が創立四十周年を迎えたのを記念して行った「同窓会」も五億円を寄贈しており、寄贈式には佐治社長らが出席しました。

日英相互理解の一助に



寄贈式の模様は英国の有力紙でも大きく報道されました(左から2人目が豊田副社長)

このほど、トヨタ自工は国際交流基金を通じて、ロンドン大学に「国際経済研究センター」の設立資金として、五億円を寄贈。その寄贈式が六月三日、ロンドン・セント・パウルズ教会、聖ヨハネ、日本側から加藤駐英大使をはじめ、トヨタ

斎藤会長 特許協会会長に再選



このほど、東京都・文京区の梅山荘で行われた日本特許協会の定例総会で、トヨタ自工の斎藤会長が同協会の会長に再選されました。斎藤会長は昨年五月に同会長に就任して以来、特許出願ならびに審査請求

豊田副社長 自技会会長に再選



このほど、東京都・港区の機械振興会館で行われた自動車技術会の第三十二回通常総会で、トヨタ自工の豊田副社長が同会の会長に再選されました。豊田副社長は、五十一年に同会長に就任以来、第十六回FISITA(国

際自動車技術会連合 国際会議や、アジア・太平洋地域の自動車技術者の国際会議である第三回自動車技術会を開催し、世界の自動車技術者との交流を深める一方、技術会創立三十周年記念行事を行うなど、国内外の自動車技術のレベル向上に貢献してきました。今任期中の二年間には、六月に開催された第十七回FISITA国際会議へ出席したほか、ISO/TC22(国際標準化機構)の自動車に関する技術委員会)の東京総会の開催を予定しており、その活躍が期待されています。

ご愛顧、ご支援のたまもの

主な車名別販売累計台数 (万台)	
ランナー	286
ローランド	201
カコクマ	130
カコクマ	109
カコクマ	90

トヨタの乗用車国内販売累計 1,000万台超える

昨十月、国内におけるトヨタ車の保有台数が一千万台を突破したのに続き、このほどトヨタの乗用車の国内販売累計台数が一千万台を超えた。これは、販売店、仕入先など関係各面の幅広いご支援はもとより、ユーザーの皆様の多年にわたるご愛顧のたまものです。今回の一千万台達成は昭和十一年のA型乗用車の発売以来、四十二年間で達成したもので、わが国初の快記録です。わが国の全乗用車販売累計二千四百三十六万台(除税)の四

見事 実力を発揮

このほど行われた第十六回技能全国大会に、トヨタ自工から七名が参加。木工型部門で優勝、二位、三位、四位、打出し組部門で四位と好成績を収めました。この大会は、職業訓練の振興と技能者の向上、および青年技術者の国際交流を図ることを目的に、毎年行われているもので、参加者は十八歳から一歳まで。今年には十六職種に全国から選出された精鋭五十六人が参加。この中で、トヨタ自工の中実さんが、日ごろ鍛えた実力を発揮し、木工型部門で優勝。九月に韓国で行われる国際大会へ出場することになっており、その活躍が期待されます。

技能五輪で6人入賞

研究・開発に栄誉

このほど、トヨタ自工の技術員七人が、第二十二回自動車技術会賞の学術賞・技術賞の賞に輝きました。自動車技術会賞の学術賞は、前年一年間に自動車に関する優れた学術論文を発表したグループに贈られるもので、今回の受賞は「指紋線図解による燃焼変動の研究」についての論文が高く評価されました。また同技術員は、前二年間に自動車技術の向上に顕著な功績があったと認められ、オールドレイブ付録自動車技術の発展を促進化により、社会の要請ある燃焼問題に対し大きく寄与したことが認められたものと。また、トヨタ自工では、学術賞は年連続六回目、技術賞は九回目の受賞です。

晴れの自動車技術会賞を受賞

英国国会議員一行が来社

英国国会議員の随行者団一行が、このほどトヨタ自工を訪れ、トヨタ自工の施設や工場を見学し、トヨタ自工の豊田副社長やトヨタ自工の加藤社長らと懇話。池田議員らと心交しに懇話。席上、リズ・テイラー議員が「日本車は英国国内で大変評判が高く、一般大衆にとっては良い商品を提供してくれています。輸出についても配慮したい」とおっしゃっていました。その後、一行は工場を見学し、従業員のみが担当する仕事に感心して見入っていました。



交通安全クイズの答
「問題1」①「問題2」②